

科目名	幼児と表現		担当教員	西川 正晃	
単位	1単位	講義区分		ナンバリング	ED1CSR105
期待される学修成果	教科教育 自己形成				
アクティブ・ラーニングの要素	実習、フィールドワーク				
実務経験	教諭（講師を含む）				
実務経験を生かした授業内容	保育現場での実践経験から、子どもの表現について多様な姿を明らかに示し、指導案の作成や模擬保育の実際とその評価など、現場での具体例を授業に反映させる。				
到達目標及びテーマ	領域「表現」の指導に関する、幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などの専門的事項についての知識・技能、表現力を身につける。				
授業の概要	幼児期の表現の特性、受け止めていくことの重要性、幼児の遊びや生活の中に観られる素朴な表現について、映像や具体的事例を通して説明する。また、様々な表現を体験することを通して、表現の多様性について説明を行い、表現する過程の重要性について分析する機会を設ける。さらに、身体の諸感覚を通じた表現活動について分析を行う。これらの学修から、季節や行事に行う文化的活動、伝承遊びなどを体験し、子どもたちの表現としてどのように遊びにつなげるか指導案作成や模擬保育を行う。				

授業計画	
第1回	授業のガイダンス 本授業がめざすもの・授業内容 授業の概略と展開について（講義：表現の知識・理解と感性について）
第2回	表現における感性の構造と働きについて（講義：感性の内的循環について）
第3回	子どもの存在と表現（講義：表現者としての存在、表現における他者の存在、表現者としての育ち）
第4回	表現の多様性と生成する過程の分析1（講義・演習：表現の多様性【情報機器の活用含む】について「○○○を表現してみよう」）
第5回	表現の多様性と生成する過程の分析2（演習：多様な表現方法の実際）
第6回	表現の多様性と生成する過程の分析3（演習・講義：表現を生成する過程の分析と検討）
第7回	諸感覚を通じた表現活動の意味について1（事例・映像資料から3歳児前半の表現について読み解く）
第8回	諸感覚を通じた表現活動の意味について2（事例・映像資料から3歳児後半の表現について読み解く）
第9回	諸感覚を通じた表現活動の意味について3（事例・映像資料から4歳児の表現について読み解く）
第10回	諸感覚を通じた表現活動の意味について4（事例・映像資料から5歳児の表現について読み解く）
第11回	表現することの楽しさの実感と楽しさを生み出す要因について1（演習：季節の遊び、伝承遊びの追試計画）
第12回	表現することの楽しさの実感と楽しさを生み出す要因について2（演習：季節の遊び、伝承遊びの追試）
第13回	様々な表現の基礎的な知識・技能を活かした幼児の表現活動の展開1（講義・演習：指導計画の作成）
第14回	様々な表現の基礎的な知識・技能を活かした幼児の表現活動の展開2（演習：模擬保育の実施）
第15回	様々な表現の基礎的な知識・技能を活かした幼児の表現活動の展開3（演習・講義：実践演習の省察）

事前学修	0.5時間	各回に示した内容をアサインメントとする。具体的にはその都度指示を行う。
事後学修	0.5時間	アサインメントに関連する資料や情報を収集する。
フィードバックの方法	・授業後の振り返りシートへのコメントの記入など、授業者への学習支援を丁寧に行う。・振り返りシートなどから見えてきた疑問や質問などについては、個別的是もちろん、必要であれば全体でも振り返るようにする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	40%	知識理解・自分自身の解釈や判断力・それらを統合して考えを構築しているかどうか評価。
上記以外の試験・平常点評価	60%	グループワークや授業態度を評価。模擬保育からみる主体性や対話性の充実度で評価。自己評価。
定期試験	0%	実施しない

補足事項	
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
最新保育講座11保育内容「表現」	平田智久他	ミネルヴァ書房	978-4-623-05573-9	特になし
幼稚園教育要領解説	文部科学省	フレーベル館	978-4-577-81447-5	特になし
参考資料				